



三田ヶ谷公民館だより

令和 7年12月1日
発行 三田ヶ谷公民館
TEL 565-0040

“フラワーアレンジメント教室”にご参加ください!

- 日 時 1月22日(木) 9時30分~11時30分
- 場 所 三田ヶ谷公民館
- 対 象 市内在住・在勤の方
- 費 用 2,500円
- 申込み 12月11日(木)からに費用を添えて公民館へ
- 講 師 大澤りう子 氏
- 定 員 15名(先着順)
- 持ち物 エプロン、花はさみ



“パンジー”が公民館を彩っています!

有限会社ミロク自動車様が、三田ヶ谷公民館にパンジーを寄贈してくださいました。色とりどりのパンジーが来館者を迎えています。

パンジーの名前は、その姿が物思いのふけている姿に見えるため、それを意味するフランス語の「パンセ」から由来するそうです。御寄贈、ありがとうございました。



クリーン作戦 ~けやきの落ち葉を差し上げます!~

12月13日(土)午前8時30分より、自治会・体育振興会・各スポーツ団体で公民館グラウンドのけやき落ち葉清掃を実施していただきます。回収した落ち葉を必要とする方は、12月12日(金)までに三田ヶ谷公民館にお電話ください。



12月の健康運動教室

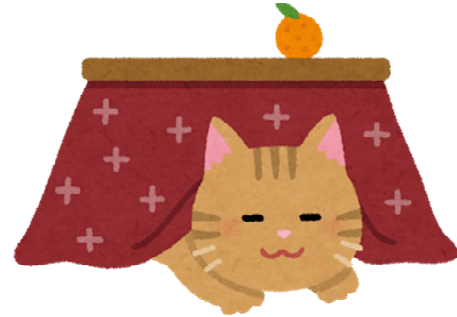
日 時 : 12月10日(水) 10時~11時30分
持ち物 : タオル、飲み物
場 所 : 三田ヶ谷公民館 和室
問合せ : 健康づくり推進課
※1月は文化祭のためお休みです。

12月のはつらつ教室

日 時 : 12月26日(金) 10時~11時
持ち物 : タオル、飲み物
場 所 : 三田ヶ谷公民館 和室
問合せ : 高齢介護課

12月公民館休館日

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3



「いいでえー！！三田ヶ谷！ ～歴史と文化～」

(第19回 郷土の川魚料理)

三田ヶ谷地区では、かつて魚料理が食べられるお店（料亭）が数軒ありました。

小説『田舎教師』（明治42年刊）では、板倉（群馬県板倉町）から弥勒高等学校（羽生市弥勒）に「雑魚売り」が来る描写があります（第28章）。校長は行商人からフナを買くと、主人公にもおすそわけしました。用務員はそのフナを串にさして、囲炉裏（いろり）で薄く焦げるほどに焼き、その内のいくつかは甘露煮（かんろに）にして食べています。

この描写からもわかるように、当時はフナもよく食べられていました。フナはカゼや胃のクスリになるとも言われ、あらいにして食べる人も多くいました。特に、冬のフナは身が締まって大変おいしかったそうです。群馬県館林市の事例ですが、病院食がなかった時代には、近くの川魚料理屋からフナのあらいを買っていく患者が多かったということです。羽生市内でも、子どもがカゼをひくと、近くの川や沼からフナかコイをとってきて、あらいにして食べさせたという話を聞きます。

沼や湿地が豊かに存在した三田ヶ谷地区でも、たくさんの魚がとれたのでしょう。その魚を自宅で食べることはあっても、販売する業者がいたかどうかは今後の調査が必要です。ちなみに、『館林市史 民俗編』によると、川魚料理店ではウナギ、フナ、コイ、ナマズ料理のほか、小魚やドジョウ、ライギョ、川エビを使うメニューもあったそうです。昔の三田ヶ谷地区の川魚料理店では、どんなメニューを出していたのでしょうか。きっと豊かな川魚料理が、地域の会合やお祝い事などに花を添えていたはずですよ。



魚料理屋における「ウナギの蒲焼き」は高級料理でした。
他市の事例では、昭和中頃まで、土用丑の日はドジョウを食べる人も多かったそうです。

